

○沿革

国際児童年の1979年に開園したまこと保育園は、隣接する日本聖公会「聖救主教会」が母体である社会福祉法人「聖救主福祉会」が経営する保育所です。聖救主教会、まこと地域センター、キッドスクール(幼稚園)と共に「まことファミリー」として、地域福祉の向上を願い、人々の善き隣人となるべく、尽力してまいりました。

時代に応じた社会のニーズにこたえ、早くから長時間延長保育、0才児の受け入れ、地域の小学生を含む子どもたちの健全育成などの体制をとってきました。そして同時に何よりも子ども達がたくましく、人間らしく、授かった生命の力によって、伸び伸びと、より幸せに育っていくことを願ってきました。保育内容も、時代に先駆けて年齢別一斉保育から、縦わり子ども主導型を導入し、早30年。経験と試行錯誤を重ねながら、子どもにとって良い環境とは何か、大切な体験とは何かを、子どもの姿から学びつつ模索を続けています。

近年は、地域の様相も昔ながらの下町住宅街からマンション、オフィスの立ち並ぶ街へと変わってきており、その中で子どもの育ちを知らないがために困難にぶつかっている子育て、支えがないがための辛い子育てに悩み苦しむ若い母親や、友だち集団がない子どもたち、友達と遊ぶ時間のない多忙な小学生たちが増えてきました。そうした社会背景により、今後は従来の保育機能に加え、健全な子どもたちが育っていくよう、地域の子育て支援の役割をも担っていくことがより一層求められており、ニーズに応えるべく力を尽くしてまいりたいと存じます。

尚、1997年に当法人の特別養護老人ホーム「愛の園」建築申請に許可があり、1999年4月、保育所との合築のまこと地域総合センターが完成し、当保育所も定員を新たに新園舎にて開所し、現在に至っております。